

## 令和2年度 第1回佐世保市環境教育等推進協議会資料

### 《目 次》

項 目	ページ数
1) 令和元年度計画進捗状況報告	P1～23
1. 第2次佐世保市環境教育等推進行動計画の概要	P1
2. 第2次佐世保市環境教育等推進行動計画に基づく事業の進捗状況	P2～8
3. 令和元年度に実施した主な事業	P9～23
2) 令和2年度 of 取組方針と実施内容	P24
3) 今後の環境教育の進め方	P25～26
4) 佐世保市環境基本計画と第2次佐世保市環境教育等推進行動計画との統合の考え方	P27～28



# 1) 令和元年度計画進捗状況報告

## 1. 第2次佐世保市環境教育等推進行動計画の概要

本計画では“環境市民”を育成し「自然と共にいきるまち させぼ」の実現に向け「環境教育プログラムの実施」「地域における環境教育の充実」「学校等における環境教育の充実」の3つの柱を中心として事業を推進しています。

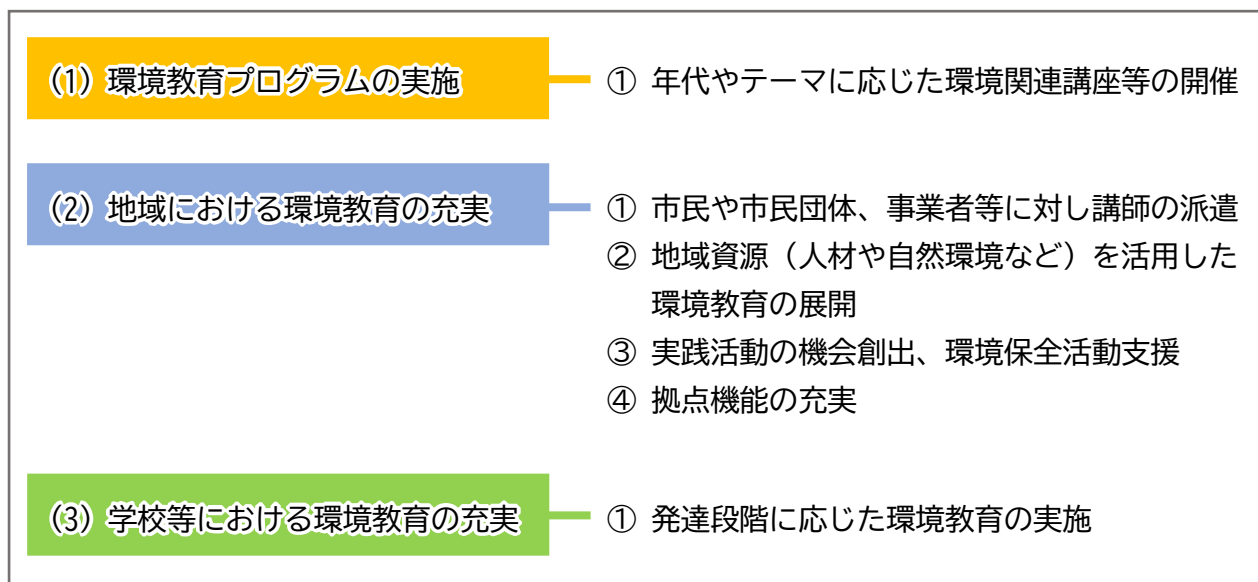


図1 具体的な施策展開

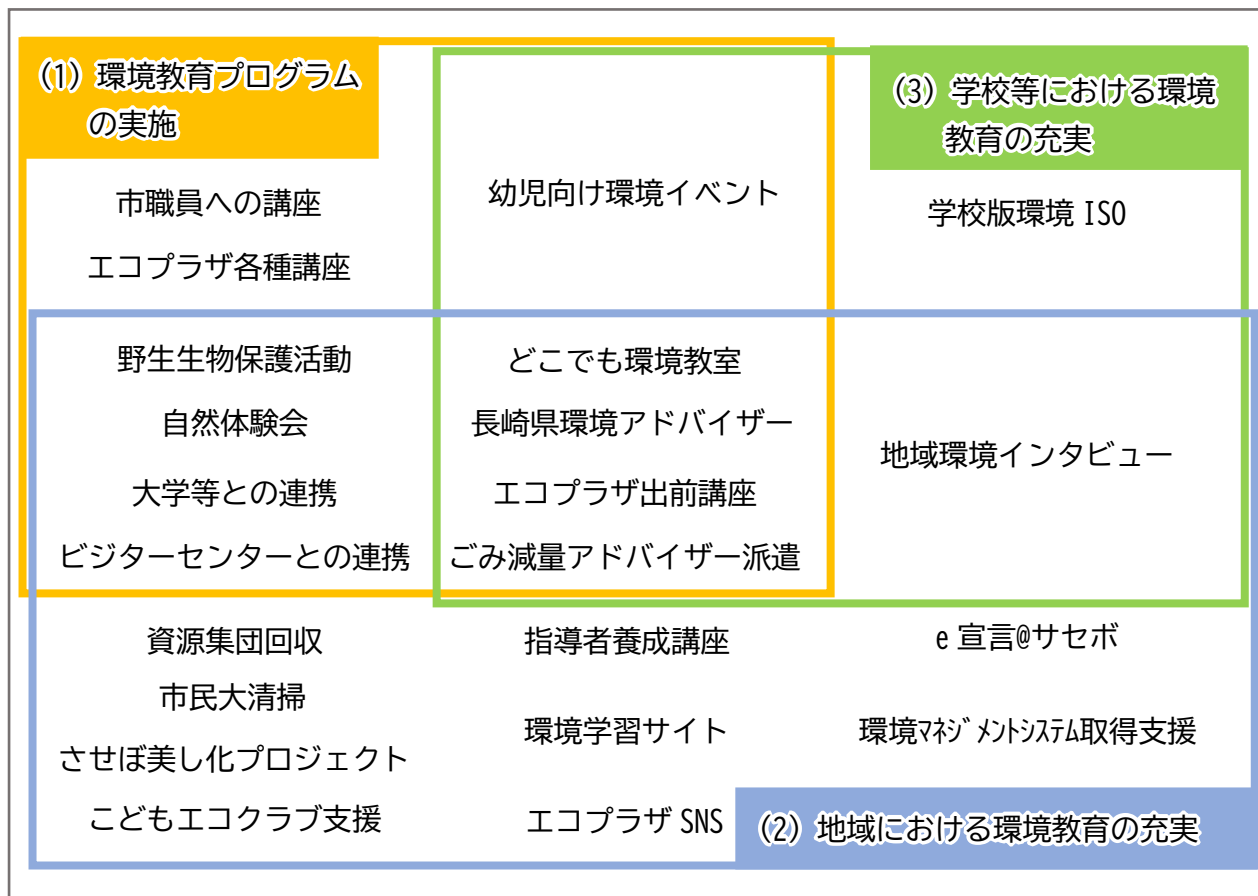


図2 各施策に関連する主な取組（イメージ）

## 2. 第2次佐世保市環境教育等推進行動計画に基づく事業の進捗状況

### (1) 活動指標の達成状況一覧

No	指標名	H29 年度 現況値	R1 年度 目標値	R1 年度 実績	R2 年度 目標値	R4 年度 目標値
①	環境関連講座等の実施回数	101 回	105 回	198 回 (242 回)	107 回	110 回
②	環境関連講座等の参加者数	4,320 人	4,484 人	8,530 人 (10,808 人)	4,566 人	4,730 人
③	講師等の派遣回数	56 回	66 回	74 回	71 回	80 回
④	環境アドバイザー登録人数	6 人	8 人	6 人	9 人	12 人
⑤	環境保全団体等登録数	4 団体	6 団体	5 団体	7 団体	10 団体
⑥	自然体験会等の実施回数	25 回	現況値より 増	22 回 (66 回)	現況値より 増	現況値より 増
⑦	自然体験会等の参加者数	517 人	現況値より 増	738 人 (3,016 人)	現況値より 増	現況値より 増
⑧	環境美化活動等への参加者数	49,352 人	49,612 人	48,513 人	49,742 人	50,000 人
⑨	環境保全団体等の活動への 参加者数	1,018 人	1,410 人	1,110 人	1,606 人	2,000 人
⑩	環境マネジメントシステム 取得事業所数 (累計)	74 事業所	78 事業所	75 事業所	80 事業所	84 事業所
⑪	e 宣言@サセボ認定団体数	21 団体	25 団体	22 団体	27 団体	30 団体
⑫	させぼエコプラザの 情報発信回数	81 回	89 回	118 回	93 回	100 回
⑬	させぼエコプラザの利用者数	8,347 人	9,500 人	11,943 人	10,000 人	11,000 人
⑭	学校等に対する支援校数	13 校	16 校	16 校	17 校	20 校
⑮	学校等に対する支援回数	37 回	42 回	36 回	45 回	50 回
⑯	学校版環境 ISO 認定校数 (させぼエコアクションスクール)	19 校	26 校	28 校	29 校	35 校

※ ( ) 内はふるさと自然体験学習を含めた数

## (2) 活動指標の分析と課題

### 【分析】

令和元年度は、16 項目の活動指標のうち 8 項目で目標を達成できました。

特に環境関連講座等の参加人数及び実施回数については、エコプラザの出前講座等の利用者が多く、目標を大きく上回りました。

また、令和元年度からは、市内の全小学 4 年生を対象とした「ふるさと自然体験学習」が始まり、多くの子どもたちが、本市特有の九十九島について学ぶことができる機会が創出され、郷土愛のほか自然環境への関心が高まる効果的な事業となっています。

### 【課題】

課題としては、まず令和元年度の目標を達成できなかった項目について、「させぼ環境アドバイザー・団体登録」、「環境マネジメントシステム取得事業者」、「e 宣言@サセボ認定団体数」といった、環境関連団体や企業へのアプローチの面で課題があると考えられます。

次に、年度末から「新型コロナウイルス感染症」の影響で、イベント等の自粛や施設の休館等活動を行えずに数値が伸びなかった項目もありました。

さらに、1 度のイベント定員数が限られていることや、年々本市財政状況がひっ迫する中、啓発事業の予算削減や人員の削減が生じており、今までどおりの啓発事業を行っていくことが難しくなってきています。

### (3) 活動指標の達成状況詳細

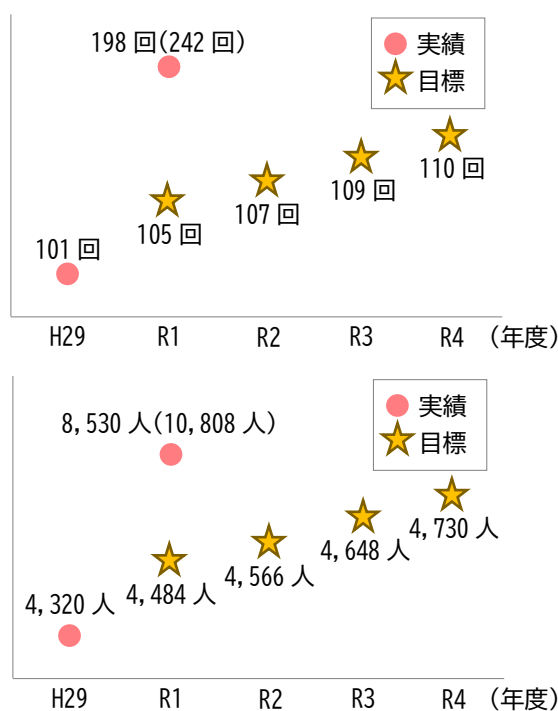
#### ① 環境関連講座の実施回数、② 環境関連講座の参加者数

令和元年度の環境関連講座の実施回数及び参加者数については、どちらも目標を大きく上回りました。

増加した要因としては、長崎県環境アドバイザー派遣事業の実施回数について、例年と変わりませんが、1回あたりに参加される人数が例年の約2倍となりました。

また、エコプラザについては、平成29年7月から「地球温暖化防止活動推進センター」の機能を付与し、環境教育及び地球温暖化対策の拠点としての役割を強化したことで、主催講座、出前講座の参加人数・回数が増加しました。

さらに、令和元年度からは、市内全小学4年生を対象として九十九島について学習を行う「ふるさと自然体験学習」が開始されたことで、2千人以上の増加となりました。



※ ( ) 内は、ふるさと自然体験学習を含めた数

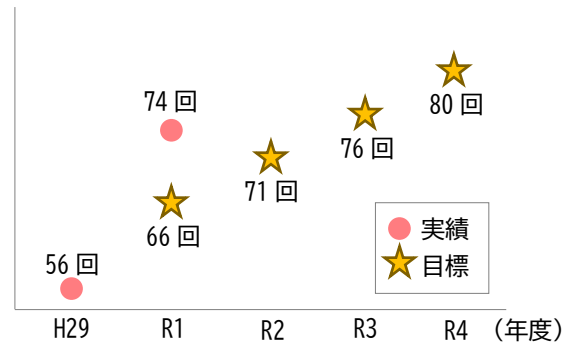
※ 「ふるさと自然体験学習」については、本計画の目標設定時には予定されていなかった事業のため、「ふるさと自然体験学習」を含めた数値と含めない数値の二通りで進捗管理を行い、本計画の目標値との比較がしやすいようにします。

主催者	項目	平成29年度	令和元年度	増減
環境政策課	環境関連イベント	211人 (3回)	1,056人 (13回)	+845人 (+10回)
	どこでも環境教室	611人 (14回)	539人 (14回)	△72人 (±0回)
	県環境アドバイザー	632人 (13回)	1,001人 (16回)	+369人 (+3回)
	自然啓発イベント	63人 (2回)	48人 (3回)	△15人 (+1回)
少年科学館	自然観察会等	390人 (18回)	299人 (11回)	△91人 (△7回)
エコプラザ	主催講座	29人 (3回)	1,322人 (50回)	+1,293人 (+47回)
	市民・団体講座	844人 (11回)	681人 (37回)	△163人 (+26回)
	出前講座	88人 (5回)	2,068人 (28回)	+1,980人 (+23回)
	学校への講師派遣	1,107人 (24回)	965人 (16回)	△142人 (△8回)
	地域環境インタビュー	218人 (3回)	160人 (2回)	△58人 (△1回)
ビジターセンター	佐世保市事業分	127人 (5回)	391人 (8回)	+264人 (+3回)
学校教育課	ふるさと自然体験学習	-人 (-回)	2,278人 (44回)	+2,278人 (+44回)
合計		4,320人 (101回)	10,808人 (242回)	+6,488人 (+141回)
合計(ふるさと自然体験学習を除く)		4,320人 (101回)	8,530人 (198回)	+4,210人 (+97回)

### ③ 講師等の派遣回数

令和元年度の講師等の派遣回数は、エコプラザの出前講座の回数が増加したため、目標を上回りました。

項目	所管課	平成 29 年度	令和元年度
どこでも環境教室	環境政策課	14 回	14 回
県環境アドバイザー	環境政策課	13 回	16 回
出前講座	エコプラザ	5 回	28 回
学校への講師派遣	エコプラザ	24 回	16 回
合 計		56 回	74 回

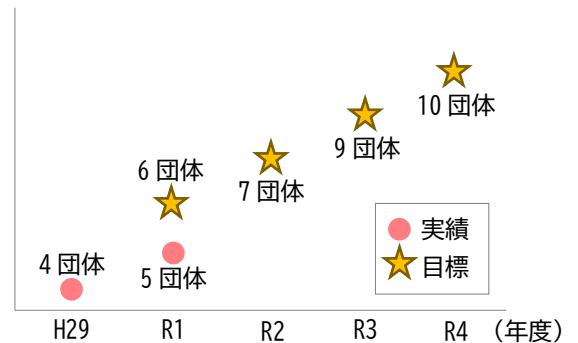


### ④ 環境アドバイザー登録人数、⑤ 環境保全団体等登録数

令和元年度の環境アドバイザー及び環境保全団体の登録は、平成 29 年度から増加しておらず、目標を達成できませんでした。

目標を達成できなかった要因としては、活動されている団体等への広報・登録への協力依頼ができていないためであると考えられますので、次年度以降は、関係団体へ積極的にアプローチしていくこととしています。

また、すでに登録いただいている団体等への関わりも、まだ薄いことから、今後、登録団体への観察会等も企画していくことも検討していきます。



⑥ 自然体験会等の実施回数、⑦ 自然体験会等の参加者数

令和元年度の自然体験会等の実施回数及び参加者数については、実施回数は目標を達成できませんでしたが、1回あたりの参加人数が多かったため、参加人数は目標を達成できました。

実施回数が目標を達成できなかった要因としては、悪天候及び新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止によるものです。



⑧ 環境美化活動等への参加者数

令和元年度の環境美化活動等への参加者数については、市民大清掃、させば美し化プロジェクト、海の日ビーチクリーンアップの参加人数が減少したことで、目標を達成できませんでした。

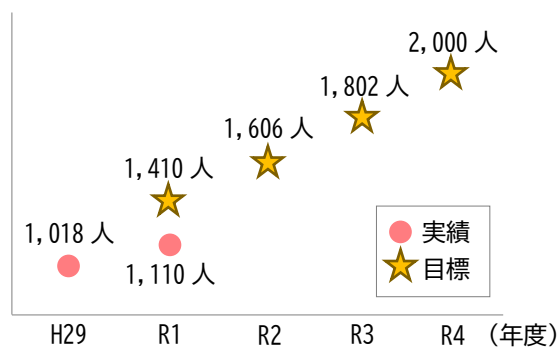


項目	所管課	平成 29 年度	令和元年度
市民大清掃	廃棄物減量推進課	42,600 人	42,100 人
ごみ減量アドバイザー派遣	廃棄物減量推進課	57 人	90 人
させば美し化プロジェクト	土木政策・管理課	5,660 人	5,328 人
海の日ビーチクリーンアップ	みなと振興課	1,035 人	995 人
合計		49,352 人	48,513 人



### ⑨ 環境保全団体等の活動への参加者数

令和元年度の環境保全団体等の活動への参加者数については、5ページで記載しているとおり、団体等への広報・登録への協力依頼ができていないため、目標を達成できませんでしたので、次年度以降は、関係団体へ積極的にアプローチしていくこととしています。



### ⑩ 環境マネジメントシステム取得事業所数、⑪ e宣言@サセボ認定団体数

令和元年度の環境マネジメントシステム取得事業所数及びe宣言@サセボ認定団体数ともに、増加はしましたが、目標を達成できませんでした。

環境マネジメントシステムについては、年々取得事業所が増えてきていますが、制度導入のため本市が周辺自治体と支援を行っている「エコアクション21」に関するセミナーへの参加事業所数が伸び悩んでおり、結果的に取得事業所も増加していない状況です。

今後は、周辺自治体のほか長崎県と連携しながら取得事業者を増加させるための取り組みを行っていきます。

また、e宣言@サセボ認定団体数についても、関係団体へ積極的にアプローチをしていくこととしています。

環境マネジメントシステム取得事業所数（累計）



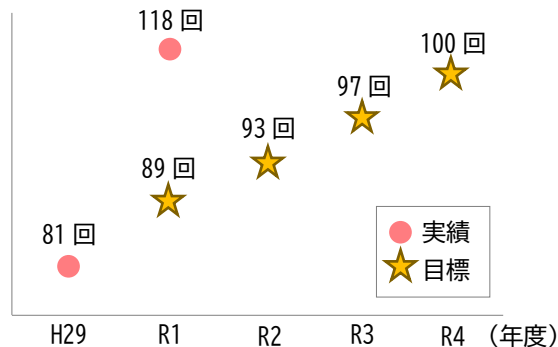
e宣言@サセボ認定団体数



### ⑫ させぼエコプラザの情報発信回数

令和元年度のさせぼエコプラザの情報発信回数は、SNSを活用したイベント情報発信等を行い目標を達成しました。

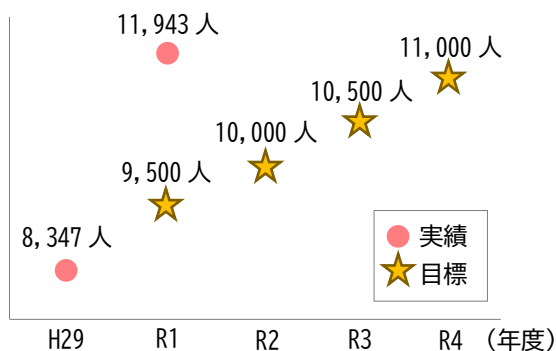
今後も、効果的な情報発信を行っていきます。



### ⑬ させぼエコプラザの利用者数

令和元年度のさせぼエコプラザの利用者数は、平成 29 年 7 月から、新たに「地球温暖化防止活動推進センター」の機能を付与し、環境教育及び地球温暖化防止活動の拠点として、主催講座や定期講座、出前講座の回数が増加しているため目標を大幅に超えています。

項目	平成 29 年度	令和元年度
主催講座	29 人	1,322 人
市民・団体等講座	844 人	681 人
出前講座	1,413 人	3,206 人
その他来館者	6,061 人	6,734 人
合計	8,347 人	11,943 人

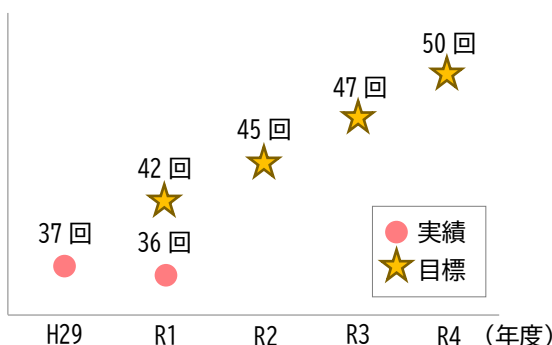
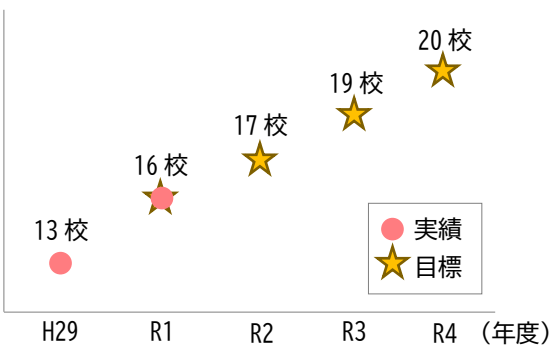


### ⑭ 学校等に対する支援校数、⑮ 学校等に対する支援回数

令和元年度の学校等に対する支援については、校数は目標値を達成しましたが、回数は目標を達成できませんでした。

現在も、校長研修会などで制度の紹介や活用をお願いを行っていますが、今後も、環境に関する講師派遣制度を学校に知ってもらう取り組みを進めていきます。

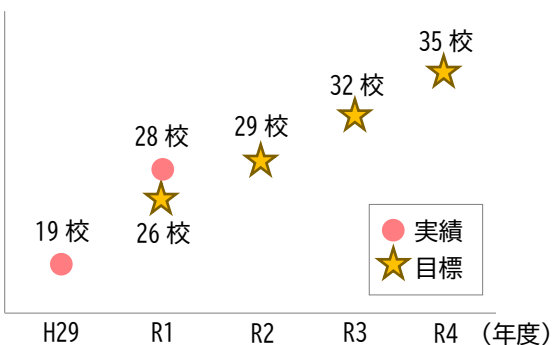
項目	平成 29 年度	令和元年度
どこでも環境教室	5 校 (6 回)	9 校 (11 回)
長崎県環境アドバイザー	3 校 (4 回)	5 校 (7 回)
エコプラザ講師派遣	8 校 (24 回)	7 校 (16 回)
地域環境インタビュー	3 校 (3 回)	2 校 (2 回)
合計	13 校 (37 回)	16 校 (36 回)



### ⑯ 学校版環境 ISO 認定校数 (させぼエコアクションスクール)

令和元年度の学校版環境 ISO 認定校数は、目標を達成できました。

今後は、新たな制度 (させぼエコアクションスクール) でさらに認定校を増加させていきます。



### 3. 令和元年度に実施した主な事業

#### (1) 自然と遊ぼう（海辺の生物観察会）

日 時	令和元年6月16日（日）13:00～15:00
場 所	白浜海水浴場駐車場及び近くの干潟
参 加 者	15名（大人7名、子ども8名）
講 師	川内野 善治 氏（ふるさと自然の会会長）
概 要	海浜植物や干潟に生息する生物の観察 (1) 干潟での生き物の捕獲及び観察（1時間程度） (2) 駐車場付近の海浜植物等の観察（30分程度）
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本市には、全国的にも希少な生きものが多く生息・生育していることや、開発行為、地球温暖化などの影響で、生育場所に変化があると生きられなくなってしまう種の存在などについても学ぶことができ、参加者が環境について考えるきっかけになりました。</li> <li>● 子どもたちは、講師へ積極的に質問しており、関心の高さがうかがえました。また、保護者の方も楽しみながら、身近な自然に触れることで、自然の豊かさや大切さを再確認してもらえたのではないかと思います。</li> <li>● アンケート結果から、参加者には好評であったと感じられます。</li> </ul>
写 真	   



(2) 幼児向け環境教育プログラム体験会

日 時	令和元年9月8日（日）9:00～12:00
場 所	九十九島ビジターセンター及びその周辺
参 加 者	14名
講 師	衣川 圭太 氏（プロジェクトワイルド長崎県 代表）
概 要	<p>市内の幼稚園教諭及び保育士に、幼児向け環境教育プログラムを体験してもらい、幼児向けの環境教育を知ってもらう機会とする。</p> <p>(1) アイスブレイク (2) 屋外での活動 (3) おにごっこしながら環境教育 (4) 製作時間に使える環境教育 (5) 講演「主体的な活動へ」</p>
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 佐世保市立幼稚園協会・佐世保市保育会の協力を得て、広報を行いました。両会長とも非常に協力的であり、今後も関係をより深くしていけるよう働きかけをしていくことが重要です。</li> <li>● また、山口委員、古川委員につきましても、広報の協力をいただきました。</li> <li>● 通常の教育・保育の中で簡単に実施可能なプログラムを体験していただき、幼児向けの環境教育を知っていただけたと思います。</li> <li>● アンケートでは、好意的な意見が多く、各園で実施したいといった意見も見られましたが、年少児には少し難しい面もあるとのご意見もいただきました。</li> </ul>
写 真	

(3) ニッポンバラタナゴ観察会

日 時	令和元年9月28日(土) 10:00~11:00	
場 所	非公開	
参 加 者	25名(大人12名、子ども13名)	
講 師	環境政策課 職員	
概 要	ニッポンバラタナゴに対する保全・意識向上を目的に、タナゴの生息する農業用水路を管理している土地改良区の方々と共同で、調査活動と地元の子どものために観察会を開催するもの。	
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ニッポンバラタナゴは、大阪、香川、九州北部のみに生息しており、長崎県で繁殖が確認されているのは、佐世保市の一部に限られた地域のみです。</li> <li>● ニッポンバラタナゴの生活や生息状況について説明し、個体数推定調査、観察を子どもたちと一緒にを行い、希少種保護の意識の醸成を図ることができました。</li> </ul>	
写 真		

(4) 街あるき温暖化教室

日 時	令和元年 10 月 5 日 (土) 10:00~11:30
場 所	下本山公民館 ~ 四反田遺跡 ~ 下本山岩陰遺跡
参 加 者	34 名 (大人 21 名、子ども 13 名)
講 師	久村 貞男 氏 (佐世保地区連合史跡保存会 会長)
概 要	<p>身近な地域の散策・講義を通じて、将来の地球温暖化の影響やその対策への理解や関心を高めるため開催するもの。</p> <p>(1) 遺跡を散策し、気候変動と生活・文化への影響について講師の解説</p> <p>(2) 下本山公民館で、地球温暖化対策について座学講座</p>
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回は、中里皆瀬地区自治協議会の協力を得て参加者を募りました。</li> <li>● 気候変動を経た縄文時代等の遺跡を、専門家と一緒に散策し、当時の生活変化を実感、さらに現在進行している地球温暖化や、私たちが地球温暖化防止に取り組めることを紹介しました。</li> <li>● アンケート結果等では、大人の参加者には概ね好評でありましたが、子どもからは内容が難しいとの声がありました。</li> <li>● しかし、子どもたちに対しても、地域の遺跡を散策し貝殻等を触るなどの「体験」を通じて記憶に残るイベントとすることはできたと考えています。</li> </ul>
写 真	   

(5) 職員研修「自然環境保全と公共工事」

日 時	令和元年 10 月 16 日 (水) 14:00~16:00
場 所	長崎鹿町ウィンドファーム敷地内
参 加 者	19 名
講 師	川内野 善治 氏 (ふるさと自然の会 会長)
概 要	散策しながら生育している植物の観察を行い、講師に解説を行ってもらう。 公共工事の自然環境への配慮について実例を紹介しながら説明。
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回の研修を通じて、これらの豊かな自然と共存し、持続可能な街づくりを進めていくため、職員一人ひとりが、生態系や希少野生生物の重要性について認識を深め、より環境に配慮した実効性のある取り組みへと結び付けていきます。</li> <li>● 実施後のアンケートでは、好意的な意見・要望が多く、更に掘り下げた内容を要望される意見もありました。</li> </ul>
写 真	

(6) 長崎短期大学「地域連携（佐世保学）講座」


日 時	令和元年 10 月 30 日（水）、11 月 7 日（木） 9:10～12:20
場 所	長崎短期大学 体育館及びその周辺
参 加 者	91 名（保育学科 1 年生）
講 師	衣川 圭太 氏（プロジェクトワイルド長崎県 代表）
概 要	<p>将来保育者として活躍する学生を対象として、幼児向け環境教育を知ってもらう機会として開催するもの。</p> <p>(1) 佐世保市の環境教育の現状説明</p> <p>(2) 幼児向けの環境教育プログラム体験</p>
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 座学ではなく、体験を中心に講座を行うことで、学生の興味を引き出し、自ら積極的に参加してもらえたと感じました。</li> <li>● 今後、学生が保育現場へ実習へ行く際に、環境教育の視点を取り入れた活動を期待でき、さらに、将来保育所等へ就職した際にも、実践してもらうことで、感受性豊かな幼児期からの環境教育を推進できるきっかけづくりができました。</li> </ul>
写 真	



(7) うみかぜ広場ガイドウォーク (短大ゼミ生対象)

日 時	令和元年 11 月 22 日 (金) 14:00~16:00
場 所	九十九島ビジターセンター ~ うみかぜ広場
参 加 者	12 名 (長崎短期大学 澤田ゼミ)
講 師	山口 朗子 氏 (九十九島ビジターセンター 九十九島調査室 調査員)
概 要	ビジターセンターからうみかぜ広場まで散策しながら九十九島に生育している植物の観察を行い、生きものを発見した場合は、その都度、参加者に解説を行う。
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回は、ビジターセンターと短大、環境部が連携し開催することができ、3者の連携を継続する基盤を作れました。</li> <li>● 学生自らが自然に触れ、参加した子どもたちに、自然体験の楽しさや面白さを伝える手法を学んだ場でありました。</li> <li>● これから、幼稚園や保育所等の場で働くことになる学生たちが、先生として働き始め、戸外活動において、本イベントで学んだ視点を持ってもらえれば、ただの散歩が小さな自然観察会 (体感) となる可能性もあると考えられます。</li> </ul>
写 真	

(8) あつまれ！エコキッズ！

日 時	令和2年2月9日（日）14:00～16:00
場 所	九十九島水族館 海きらら「こどもひろば あまもば」
参 加 者	207名（幼児）
講 師	衣川 圭太 氏（プロジェクトワイルド長崎県）
概 要	ビジターセンターからうみかぜ広場まで散策しながら九十九島に生育している植物の観察を行い、生きものを発見した場合は、その都度、講師に解説を行う。
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"><li>● 環境に関するぬりえやパズル、釣りゲームなどを体験でき、子どもたちは楽しそうに体験していました。</li><li>● 子どもと一緒に話を聞いていただいた、保護者の方にも環境の大切さが伝わったのではないかと思います。</li><li>● 今回は、長崎短期大学の学生をボランティアとしてお手伝いをしてもらいました。</li></ul>
写 真	

(9) 九十九島を体感してみよう!

日 時	令和2年3月8日(日) 12:30~15:00
場 所	金重島
参 加 者	環境教育等推進協議会委員(4名)、長崎県立大学生(4名)
講 師	九十九島ビジターセンター(宮本センター長、出来氏)
概 要	磯での生き物の捕獲及び観察、漂着ごみの収集
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本市が行っている「環境教育」を、協議会委員に実際に体験してもらうことで、今後の協議会で本市の環境教育の在り方など、より質の高い意見をいただいたり、各委員の所属団体等での環境教育を広めてもらったりするきっかけとなった。</li> <li>● ビジターセンターへ講師を依頼することで、職員を含め九十九島の歴史や生態系への知見を高める契機となった。</li> </ul>
写 真	     

## (10) どこでも環境教室

No.	実施日	依頼者	内容	人数			場所	講師
				子ども	大人	合計		
1	R1.7.9 (火)	柚木小学校	プロジェクトワールド	16	-	16	西光寺及びその周辺	衣川 圭太 (プロジェクトワールド 長崎県)
2	R1.7.11 (木)	江迎小学校	自然と環境問題について考えよう	27	2	29	嘉例川 (江迎小学校横)	環境保全課 職員
3	R1.7.16 (火)	天神小学校	プロジェクトワールド	63	-	63	天神山公園	衣川 圭太 (プロジェクトワールド 長崎県)
4	R1.8.7 (水)	広田児童センター	レッツネイチャー スクール	6	3	9	金田川 (碧水橋付近)	環境政策課 職員
5	R1.8.8 (木)	江迎っ子クラブ	水質調査	43	4	47	嘉例川	環境保全課 職員
6	R1.8.22 (木)	マミー学童クラブ	地球温暖化	46	6	52	マミー学童 クラブ	環境政策課 職員
7	R1.9.10 (火)	鹿町小学校	川調べの事前学習	17	2	19	鹿町小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワールド 長崎県)
8	R1.9.12 (木)	三川内小学校	総合的な学習の時間「三川内の川に行こう」	26	2	28	小森川 (今福橋付近)	川内野 善治 (ふるさと自然の会)
9	R1.9.19 (木)	鹿町小学校	川調べ	17	2	19	鹿町川	衣川 圭太 (プロジェクトワールド 長崎県)
10	R1.10.1 (火)	黒髪小学校	日宇川を調べよう	84	5	89	日宇川 (黒髪小学校横)	環境保全課 職員 環境政策課 職員
11	R1.10.1 (火)	柚木小学校	プロジェクトワールド	16	-	16	相浦川 (元触橋付近)	衣川 圭太 (プロジェクトワールド 長崎県)
12	R1.10.28 (月)	江上小学校	地球温暖化	49	2	51	江上小学校	環境政策課 職員
13	R1.11.28 (木)	大野小学校	学校開放デー ※ 県アドで計上	-	-	-	大野小学校	環境政策課 職員
14	R1.12.20 (金)	日野小学校	総合学習「ごみダイエット大作戦」	98	3	101	日野小学校	田口 昭子 (元気やさい雅)
合 計				508	31	539		

## (11) 長崎県環境アドバイザー

No.	実施日	依頼者	内容	人数			場所	講師
				子ども	大人	合計		
1	R1.5.11 (土)	黒島 de 遊び隊	野草・薬草講座	-	15	15	黒島地区公民館	宮崎 勉 (長崎県生物学会)
2	R1.5.24 (金)	花高幼稚園	いのちをいただく (給食について)	-	70	70	花高幼稚園	吉田 利道 (大地といのちの会)
3	R1.6.4 (火)	天神小学校	木育(積み木)	63	-	63	天神小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド長崎県)
4	R1.6.17 (月)	柚木小学校	木育(積み木)	16	-	16	柚木小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド長崎県)
5	R1.6.23 (日)	吉井町環境を 考える会	楽しい野菜作りと 食育、エコクッキ ング	-	200	200	ルビィ吉井	吉田 俊道 (大地といのちの会)
6	R1.6.27 (木)	日野小学校	ごみの減量につい て考えよう	101	-	101	日野小学校	田口 昭子 (生ごみ減量化リーダ ーネットワークながさ き)
7	R1.7.10 (水)	港小学校	港っ子エコ大作戦 ごみをへらそう	51	-	51	港小学校	谷口 雅樹 (生ごみ減量化リーダ ーネットワークながさ き)
8	R1.8.19 (月)	こぼと学童ク ラブ	水生生物調査	42	6	48	金田川	川内野 善治 (ふるさと自然の会)
9	R1.8.20 (火)	マミー学童ク ラブ	川の生きものを知 る	39	6	45	マミー学童クラブ	中原 康彦 (環境カウンセラー)
10	R1.11.12 (火)	長崎県農業協 同組合	SDGs について	-	172	172	九十九島パ イナル	松嶋 範行 (長崎県地球温暖化防 止活動推進センター)
11	R1.9.8 (日)	あそび探検ク ラミツ	見上げてみよう広 田の星空・天体観 望会	19	8	27	広田公園	松本 直弥 (長崎県天文学協会)
12	R1.9.30 (月)	日野小学校	総合的な学習	100	-	100	日野小学校	谷口 雅樹 (生ごみ減量化リーダ ーネットワークながさ き会員)
13	R1.9.17 (火)	柚木小学校	川活動	16	-	16	柚木小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド長崎県)
14	R1.11.28 (木)	大野小学校	学校開放デー	33	1	34	大野小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド長崎県)
15	R1.11.1 (金)	自主保育どん ぐり	生ゴミを使っ ての土作りとお腹の健 康を守る	6	7	13	職員宅	吉田 俊道 (大地といのちの会)
16	R2.3.26 (木)	自主保育どん ぐり	春の野草観察会	15	15	30	菌ちゃんファーム	川内野 善治 (ふるさと自然の会)
合 計				501	500	1,001		

## (12) させぼエコプラザ実施事業

月	①主催講座		②市民・団体等講座		③出前講座		④その他 来館者	合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数		回数	人数
4月	3	35	6	22	1	48	511	10	616
5月	3	25	4	73	4	634	593	11	1,325
6月	4	57	4	56	1	109	511	9	733
7月	3	41	3	52	8	325	619	14	1,037
8月	3	16	1	7	13	413	474	17	910
9月	7	97	4	43	5	-	550	16	690
10月	6	105	3	27	15	565	676	24	1,373
11月	5	100	5	147	10	527	611	20	1,385
12月	8	107	2	15	6	150	543	16	815
1月	6	95	1	11	9	358	607	16	1,071
2月	2	644	4	228	10	77	654	16	1,603
3月	-	-	-	-	4	-	385	4	385
合計	50	1,322	37	681	86	3,206	6,734	173	11,943

## ① 主催講座

講座名	回数	人数
エコクッキング	9	147
リサイクル工房	11	103
かえっこバザール	8	46
月別イベント	9	101
その他	8	749
ふくくる市	5	176
合計	50	1,322

## ③ 出前講座

講座名	回数	人数
小中学校	18	965
地域環境ｲﾝﾍﾞﾙ	2	160
幼稚園・保育所	1	36
学童等	17	709
自治協等	4	95
その他	8	1,241
学校版 ISO ヒアリング	36	-
合計	86	3,206

## ② 市民・団体等講座

講座名	回数	人数
バードカービング	5	8
旬の野菜料理教室	10	102
おもちゃ病院	11	162
その他	11	409
合計	37	681

## (13) 少年科学館実施事業

No.	イベント名	開催日	内容	人数
①	いきものとおそぼう!	5/25	ゲンジボタルの観察	31
②	昆虫採集会事前準備会	7/7	昆虫採集の準備	38
③	昆虫採集会	7/21	昆虫採集	38
④	植物採集会事前準備会	7/7	植物採集の準備	36
⑤	植物採集会	7/21	植物採集	27
⑥	里山探検	11/2	干潟の動植物観察	18
⑦	冬の自然を観察しよう!	1/25	カエルやサンショウウオの卵や冬の自然観察	22
⑧	させぼネイチャークラブ	6/16	生物が生きるための知恵 (昆虫と鳥、そして植物の関わりから進化を考える)	31
⑨	させぼネイチャークラブ	8/17	動物の行動 (定点カメラが映した映像から動物(哺乳類)のおもしろい行動を見る)	16
⑩	させぼネイチャークラブ	12/15	俵ヶ浦半島の自然の素晴らしさと海の生きものの紹介	32
⑪	させぼネイチャークラブ	2/15	両生類について	10
合 計				299

## ① いきものとおそぼう!

日 時	5/25 (日) 19:00~21:00
場 所	小佐々町つづらダム
参 加 者	31名 (大人16名、子ども12名、幼児3名)
講 師	下條 清隆 氏 (西部環境調査株式会社 環境カウンセラー)
概 要	小佐々町のつづらダムでゲンジボタルの観察を行う。
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちはゲンジボタルの生息について理解をするとともに、目の前に出現するゲンジボタルに関心を示していました。</li> <li>ゲンジボタルの生息に関係ある環境に興味を示していました。</li> </ul>

## ②~⑤ 昆虫採集会・植物採集会

日 時	準備会 7/7日 (日) 10:00~12:00    採集会 7/21 (日) 9:00~12:00
場 所	少年科学館
参 加 者	準備会 昆虫 38名 (大人15名、子ども20名、幼児3名) 植物 36名 (大人14名、子ども15名、幼児7名) 採集会 昆虫 38名 (大人18名、子ども17名、幼児3名) 植物 27名 (大人13名、子ども12名、幼児2名)
講 師	昆虫採集 上田 豊彦 氏 (日本自然保護協会 自然観察指導員) 植物採集 犬塚 光則 氏 (ふるさと自然の会 副会長)
概 要	植物昆虫採集のための準備物製作と標本作り
開催状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫植物採集を実際に行う予定だったが、雨天のため、講師が採集してきた昆虫や植物で標本作りをしました。</li> <li>標本作りの意義を講師から聞き、命の大切さを感じるきっかけになりました。</li> </ul>

⑥ 里山探検

日 時	11/2 (土) 9:00~12:00
場 所	小森川河口
参 加 者	18名 (大人8名、子ども6名、幼児4名)
講 師	佐伯 信吾 氏 (ふるさと自然の会 元少年科学館職員)
概 要	小森川の河口付近で、干潟に生える植物や鳥類やカニ類などの動物を観察しよう
開催状況	● 干潟で生き物を観察することによって希少な生き物を発見することができ、自然の豊かさを認識することができました。

⑦ 冬の自然を観察しよう

日 時	1/25 (土)
場 所	少年科学館・清水小学校ビオトープ
参 加 者	22名 (大人7名、子ども12名、幼児3名)
講 師	川内野 善治 氏 (ふるさと自然の会 会長)
概 要	清水小学校ビオトープでサンショウウオの卵などの観察を行う
開催状況	● サンショウウオの卵をみることができ、希少な生物の存在を実感することができました。事前にサンショウウオ等の話を聞いて観察をしたため、命を守る環境について認識してもらえたのではないかと思います。

⑧~⑪ させばネイチャークラブ

日 時	6/16 (日)、8/17 (土)、12/5 (日)、2/15 (土) いずれも 10:00~11:10
場 所	少年科学館
参 加 者	1回目 31名 (大人11名、子ども15名、幼児5名) 2回目 16名 (大人9名、子ども5名、幼児2名) 3回目 32名 (大人11名、子ども17名、幼児4名) 4回目 10名 (大人3名、子ども7名)
講 師	川内野 善治 氏 (ふるさと自然の会 会長)
概 要	1回目 生物が生きるための知恵 (昆虫と鳥、植物の関わりから進化を考える) 2回目 動物の行動 (定点カメラが映した映像から動物のおもしろい行動をみる) 3回目 俵ヶ浦半島の自然の素晴らしさと海の生きものの紹介 4回目 両生類について
開催状況	● 座学としての講座です。写真やビデオをみながら講師の話を聞くことによって佐世保市には豊かな自然があり、守っていかねばならないという認識をもつことができました。



## (14) 九十九島ビジターセンター（佐世保市事業分）実施事業

No.	イベント名	開催日	内容	人数
①	春のうみかぜガイドウォーク	4/20	春のうみかぜ広場の自然観察	10
②	トビカズラウォーク	4/21	ビジターセンターから長尾半島まで散策し、トビカズラや季節の植物の観察	10
③	無人島で自然観察	5/18	環境保全課と共に無人島の自然を体感	中止
④	カヤックで長尾半島	6/1	長尾半島へカヤックで行き自然観察	18
⑤	九十九島なんでもクイズ	7/13- 8/31	VC 館内やパールシーリゾートで、クイズを解く	163
⑥	寄りもので工作	7/20 7/21	西海国立公園の漂着物について学び、それらを使って工作	86
⑦	渋柿染め	7/27	渋柿など身近な植物の葉で草木染めを行う	25
⑧	九十九島の日記念イベント	9/19	講演「九十九島を愛する 4 人が語る～あの日の九十九島～」	67
⑨	洋上から楽しむ九十九島の魅力	1/19	リラクルーズで遊覧し、野鳥の観察も行う	12
⑩	赤崎岳ガイドウォーク	1/26	身近な山である赤崎岳でのガイドウォーク	中止
⑪	長尾半島ガイドウォーク	3/24	星きらり共催長尾半島ガイドウォーク	中止
合 計				391

## (15) 学校教育課実施事業

No.	イベント名	校数	内容	人数
①	ふるさと自然体験学習	44	小学 4 年生対象に九十九島のレクチャーを行う	2,669

## 2) 令和2年度の取組方針と実施内容

令和2年度の環境教育は、新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で取り組みを進めています。

殆どの取り組みが例年どおり実施が難しいとの判断のもと、自然啓発系の体験型イベントや研修会等に関して、原則規模縮小による開催や新たに動画・SNSを活用した環境啓発の取り組みを実施しています。また、一部の取り組みに関しては、諸般の事情により中止しています。

実施区分	内容
例年どおり	どこでも環境教室
	長崎県環境アドバイザー派遣
	みどりのカーテンフォトコンテスト
	親子でエコチャレンジ
	ホタルマップ
動画等による啓発	街あるき温暖化教室（防災）
	街あるき温暖化教室（遺跡）
	幼児向け環境教育プログラム体験会
	冬鳥観察会（初心者向け）
	長尾半島ガイドウォーク（予定）
	自然観察会（市職員向け）
	エコドライブ研修（市職員向け）
	EMS研修（市職員向け：課長・EMS実行委員対象）
	EMS研修（市職員向け：新入職員対象）
規模縮小による開催	エコプラザ各種講座・イベント等
	させぼの川の自然を体感してみよう！
	カブトガニ観察会
	エコアクション21取得支援セミナー等
中止	地球温暖化防止啓発イラストコンクール
	ニッポンバラタナゴ観察会
	長崎短大との連携事業
	あつまれ！エコキッズ

### 3) 今後の環境教育の進め方

佐世保市では、毎年様々な啓発や環境教育を実施していますが、令和元年度の年度末から「新型コロナウイルス感染症」の影響で、イベント等の自粛や施設の休館等活動を行えずに数値が伸びなかった項目もありました。

コロナ禍においては、体験型の啓発イベントの場合、1回の定員数が限られるため、参加人数等の制約により啓発対象に限界があります。年々本市財政状況がひっ迫する中、啓発事業の予算削減や人員の削減が生じており、実施回数の増加やこれまでどおりの啓発事業を行っていくことが難しくなっています。

また、「させぼ環境アドバイザー・団体登録」、「環境マネジメントシステム取得事業者」、「e宣言@させぼ認定団体数」といった、環境関連団体や企業へのアプローチ面での課題もあります。

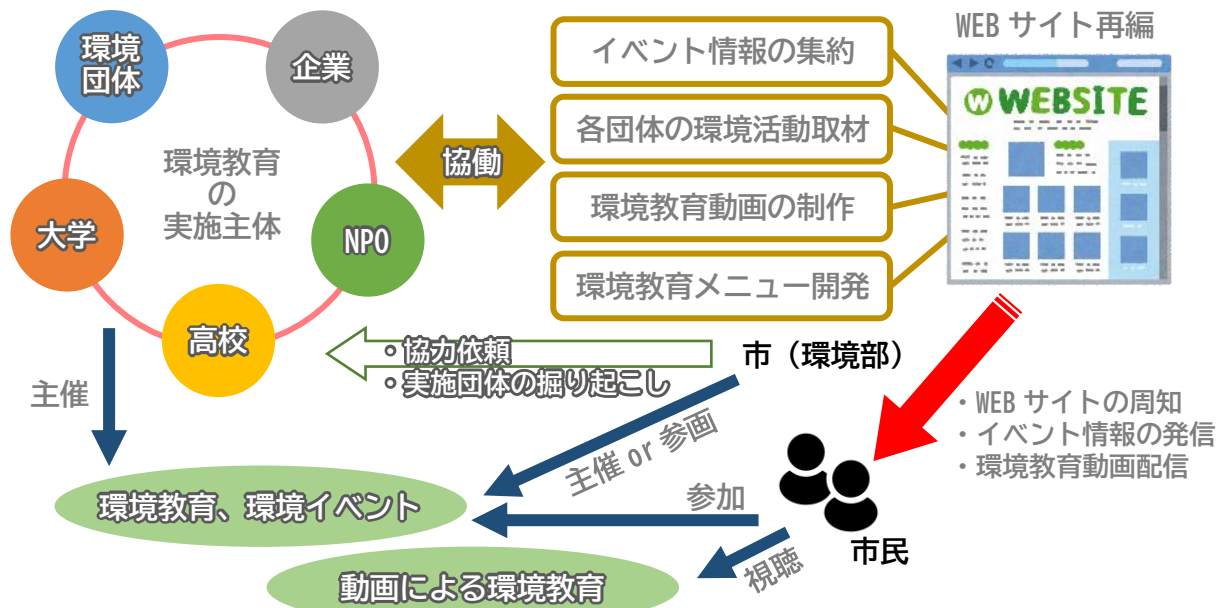
市民団体や事業者、市の環境配慮の取組が市民に届いていない現状があるなか、環境教育の推進は、今後ますます重要性を増してきており、効果的な今後の環境教育について、以下のような視点で次年度以降の事業の進め方を検討しています。

#### 【今後の取り組みの方向（案）】

- (1) STEP 1 市民・市民団体・事業者・大学等の多様な主体との協働による環境教育の推進  
⇒多様な主体による環境教育機会の提供、いつでもどこでも環境教育を受けられる環境整備
- (2) STEP 2 市民や事業者による環境保全活動の取り組みを促進  
⇒地域循環共生圏づくりを担う人材や事業者の育成・支援

次頁に「今後の取り組みの方向」を推進するための取組内容イメージを示しています。

STEP 1 市民・市民団体・事業者・大学等の多様な主体との協働による環境教育の推進



◎ 市民の環境教育機会の創出に向けて、「活動の場を増やす」「いつでもどこでも学べる環境の整備」に取り組む。

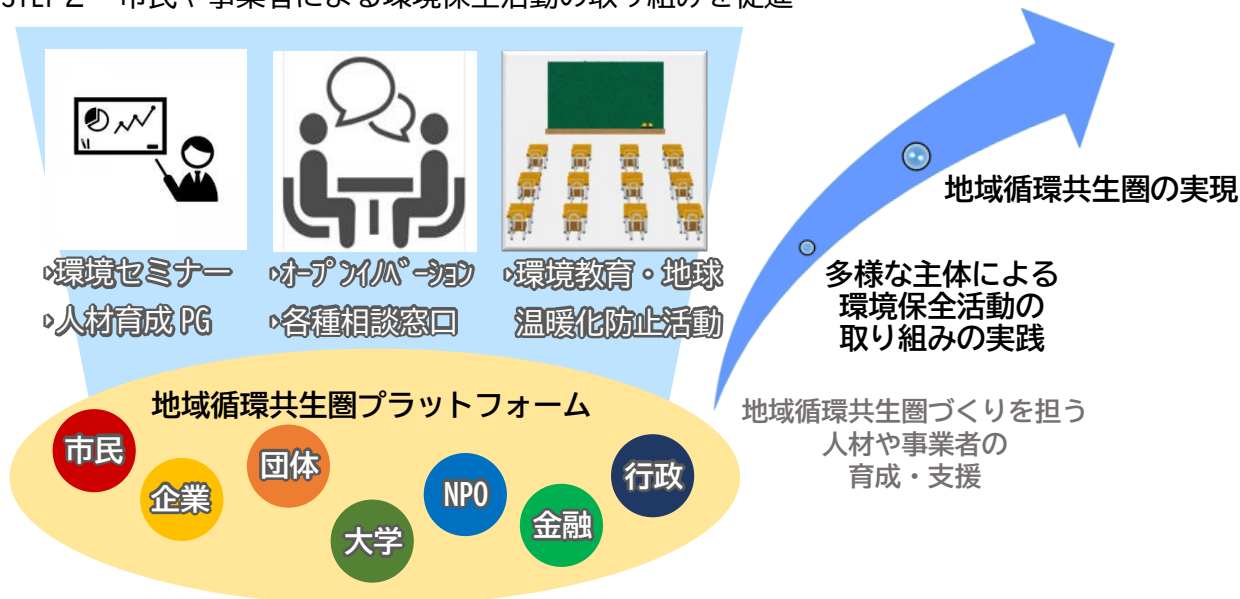
【多様な主体による環境教育機会の提供】

- 高校・大学・企業・環境団体・NPO 等との協働体制構築・環境教育の実践
- ▶ 各団体への協力依頼、新たな実施主体の掘り起こし
- ▶ 環境教育メニュー開発・実践
- ▶ 環境教育実践機会の提供

【いつでもどこでも環境教育を受けられる環境整備】

- 環境教育情報発信サイトの整備
- ▶ WEB サイトの再編
- ▶ デジタルサイネージ導入検討
- 環境教育実施団体の活動情報一元化
- ▶ イベント情報集約
- ▶ 各団体の環境活動取材
- 環境教育動画制作

STEP 2 市民や事業者による環境保全活動の取り組みを促進



◎ 環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の実現に向けて、市民のエコライフの実践促進や地域の環境ビジネスを担う事業者・人材の育成に取り組む。

【地域循環共生圏づくりを担う人材や事業者の育成・支援】

- 産学官金による地域循環共生圏プラットフォームの組成・運用
- ▶ 環境セミナー開催
- ▶ 産学官金連携による環境人材育成プログラム
- ▶ 異業種交流によるオープンイノベーション
- ▶ 各種相談窓口

#### 4) 佐世保市環境基本計画と第2次佐世保市環境教育等推進行動計画との統合の考え方

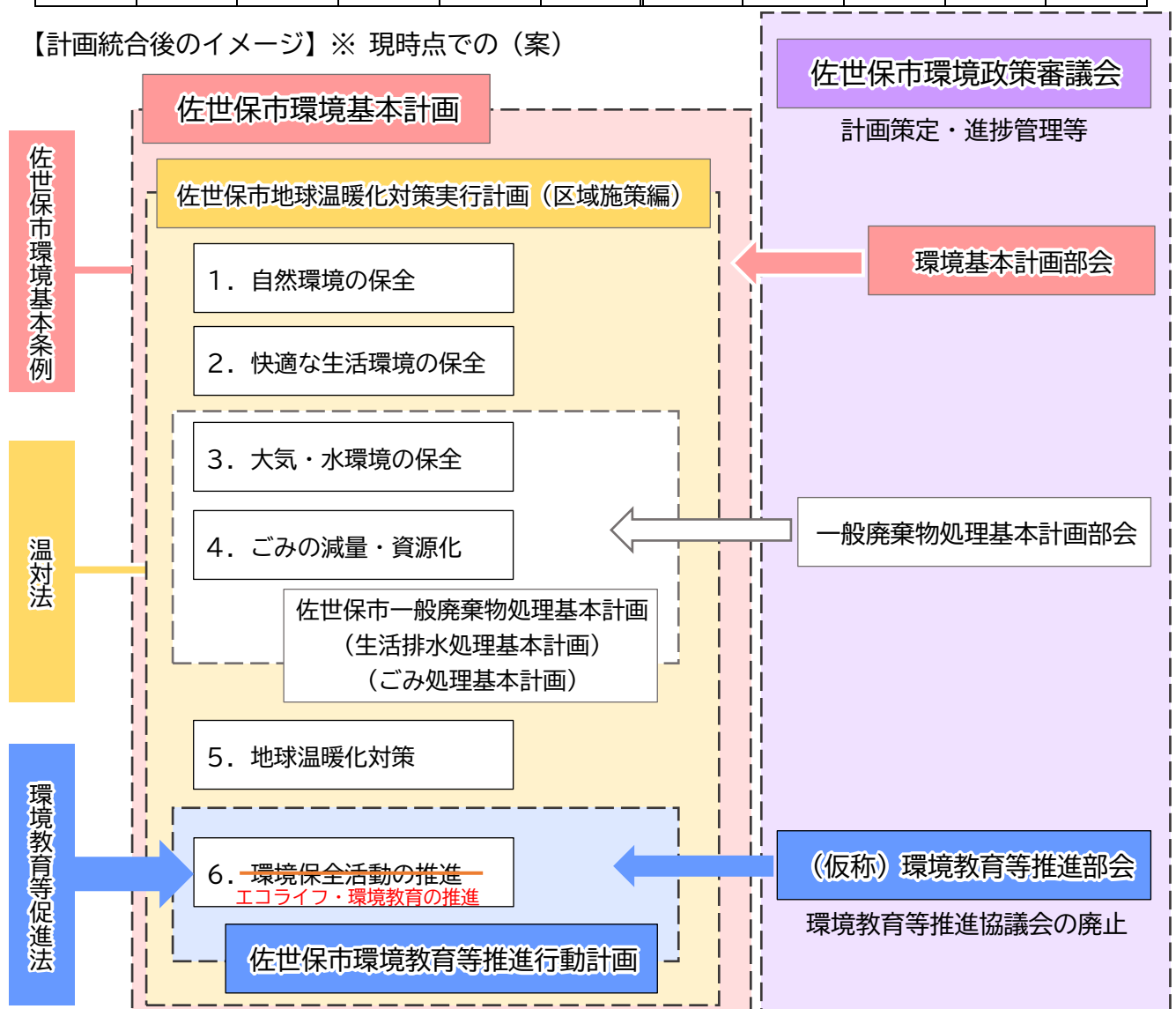
第2次佐世保市環境教育等推進行動計画（以下、「行動計画」という。）は、本市環境行政のマスタープランである「佐世保市環境基本計画」（以下、「環境基本計画」という。）の中間見直し時期である令和4年度までを計画期間としています。

行動計画を本協議会で策定する際に、「環境基本計画」との統合を見据え策定作業を行ってきました。

今後、本協議会及び環境政策審議会で統合後の計画の在り方について、事務局案を示しながら委員の皆様のご意見を反映させていきます。

計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
環境基本計画	計画期間：平成30年度～令和9年度（中間見直し：令和5年度）					→				
行動計画	計画期間：令和元年度～令和4年度				↑	統合				

【計画統合後のイメージ】※ 現時点での（案）



### (1) 基本的な考え方

行動計画の目的は、環境教育を通じて、それぞれの立場に応じて自発的、積極的に環境に配慮した行動をする環境市民の育成であり、その範囲は環境分野全般に及ぶものです。

本市の環境基本計画では、環境教育の推進を重点プロジェクトとして位置付け、行動計画に基づく施策展開を図ってきました。

今般の環境基本計画の中間見直しに合わせて、環境教育の推進を環境基本計画の基本目標の一つとして柱に置くことで、環境分野に係る施策の整合性を図るとともに、環境市民の育成に係る施策を充実させることで、環境像である「自然と共に生きるまち させぼ」を官民協働により実現を目指すものです。

### (2) 検討項目（案）

- 環境基本計画における環境教育の位置づけ（基本目標）
- 取り組みの方向・施策
- 成果目標・取組目標
- 環境政策審議会・環境教育等推進協議会の統合・再編、新たな部会設置
- 環境教育等推進協議会条例の廃止

### (3) 今後のスケジュール（案）

年度	内容
令和2年度	・ 環境基本計画への統合の考え方の説明及び意見集約（協議会2回） ・ 検討項目の整理（事務局）
令和3年度	・ 検討項目の内容整理（協議会2回）
令和4年度	・ 検討項目（最終案）の確認（協議会1回） ・ 検討項目（最終案）を環境基本計画部会へ引き継ぎ ・ 環境基本計画の中間見直し検討（環境基本計画部会） ・ 環境基本計画（環境教育部分）の内容確認・協議会再編（協議会2回） ・ 環境教育等推進協議会条例の廃止 ・ 環境基本計画改定・公表（3月）
令和5年度	・ 環境基本計画（改定版）スタート（4月～）